

冬の講談

忠臣蔵で味わう年の瀬

女流講談師

旭堂鱗林

きよくどうりんりん



2016年12月3日(土) 17:30開演 (17:00開場)

アイプラザー宮 小ホール

チケット 一般 1,000円
シニア 800円 (対象:60歳以上、身分証の提示が必要)
学生 500円 (対象:小学生~大学生、学生証の提示が必要)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

10月3日(月) 10:00よりチケット販売開始

- アイプラザー宮 窓口販売・電話予約
- e+ イープラス [PC/携帯] <http://eplus.jp>
[直接購入]ファミリーマート

お問合せ アイプラザー宮指定管理者 TEL:0586-77-6612

冬の講談

忠臣蔵で味わう年の瀬

日本の伝統芸能である講談は、釈台（しゃくだい）と呼ばれる小さな机の前に座り、張り扇や拍子木でそれを叩いて調子を取りつつ、歴史にちなんだ読み物を、観衆に対して読み上げるものです。冬はとりわけ忠臣蔵にまつわる話が有名で人気があり、講談の中心的なレパートリーとなっています。そんな忠臣蔵のお話を題材とした公演をお楽しみください。



講談師 旭堂鱗林(きょくどうりんりん)

幼稚園教諭とブライダルコーディネーターを経て、1999年名古屋で活動するタレントとしてデビュー。2006年春に水谷ミミ(風鱗)から上方講談師旭堂南鱗道場の紹介を受ける。3年間講談道場に通り2009年春、南鱗の鱗の字をもらって女流講談師古池鱗林となり、2016年春、旭堂の亭号をいただき、旭堂鱗林となる。現在、上方講談協会に所属し、大阪と名古屋を行き来し、活動中。

12月3日(土)

17:30 開演(17:00 開場)

アイプラザー宮 小ホール

チケット一般 1,000円 シニア 800円 学生 500円

10月3日(月)
10:00より
チケット発売



駐車場は限りがありますので(108台)、公共交通機関または乗りあわせてお願いいたします。

- ・自動車 名古屋から国道22号線で名神高速道路一宮ICを通過して4つ目の信号(下浅野交差点)を左折。左手すぐ。
- ・名鉄バス 尾張一宮駅東5番乗り場より九日市場行乗車。約15分で「一宮せんい団地」下車。

お問合せ

アイプラザー宮指定管理者

〒491-0832 一宮市若竹 3-1-12

TEL: 0586-77-6612